

たかとり 社協だより

平成24年4月発行



編集・発行

社会福祉法人 高取町社会福祉協議会
〒635-0154 奈良県高市郡高取町大字観覚寺990番地の1
電話 0744-52-3865 (直通)
FAX 0744-52-3919



清水谷・ジャンボ子ども雛

清水神社跡

元天国三輪神社

越智氏のお墓

市 尾



町の文化財に指定されている楠(天満神社入口)

も く じ

- ◆私の大字自慢
 - ◇清水谷大字の紹介 1p
 - ◇市尾大字の紹介 2p
- ◆共同募金
 - ◇赤い羽根共同募金のお礼 3p
 - ◇「住みよい地域づくり支援事業」 3p
 - ◇寄せ植え教室開催 4p
 - ◇「命のバトン」・おせち配食サービス 5p
- ◆報告
 - ◇天川村・気仙沼支援報告 4p
 - ◇「みんなちがってみんないい」 6p
- ◆お知らせ
 - ◇地域福祉権利擁護事業 7p
 - ◇障がい者週間 7p

第2回私の大字自慢

前回からシリーズでお届けしています“私の大字自慢”。高取町内23区の区長さんに大字の自慢話をしていただくコーナーです。あんなこと、こんなこと、あらためて発見できるかも!?

清水谷編



区長さんの紹介

- ◎お名前 谷口修一さん
- ◎趣味 ゴルフ・囲碁・将棋など
- ◎人生の大きな出来事
42歳の時、大病を患ったが、兄弟、
家族の協力もあり、乗り越えられたこと
- ◎夢 “絆”を育むこと



区長さんの手作りのしめ縄

○清水谷ってどんなところ? (人口など)

清水谷の人口は※1614人。※584世帯。高取町内では人口・世帯数が最も多く、面積も一番広い。町内唯一の小学校、たかむち小学校もあります。昔は医薬品販売が盛んで、12～13社程会社がありましたが、後継者不足ということもあり、今では半分以下に減ってしまいました。終戦後は、医薬品配置販売業を営む人も約40名程いらっしゃいましたが、現在は数人だけになってしまいました。(※人口数、世帯数は平成23年12月末現在の役場調査参照)

○清水谷には何がある? (歴史的建造物など)

高生神社があります。元は高取山上にあったものを、現在の地に遷されたと言われています。また、同じ清水谷大字内の上辻に在った清水神社と、尼ヶ谷の天国三輪神社の御神木が高生神社に遷され合祀されています。現在も元天国三輪神社には、伝説で刀匠天国が刀を作ったとされる井戸も残っています。さらに高生神社には境内社として天満神社と宮形神社の二社もあります。他にも常喜院には南北朝時代の忠臣越智氏のお墓も残されています。

○清水谷を自慢&PRしてください。(現在の催し物など)

清水谷の有志で、年越しに高生神社の階段や社殿で燈花会を行い、ぜんざいやお餅の振る舞いを行っています。他にも、小学校の生徒の皆さんが描いた絵を展示し、参拝された方からの投票により表彰するイベントも大変賑わいました。さらに今年は、昨年まで盆踊りやカラオケ大会などを行っていた空き地に“絆広場”と命名し、皆さんと協力して、『ジャンボ子ども雛』を作成しました。皆さんに、無理のない範囲でお手伝いいただける方、と呼びかけたところ、毎日15人くらいの方がボランティアで集まって下さいました。他にも、清水谷尚歯会の皆さんが温かいお茶や、お菓子を差し入れをして下さったり、といろいろな形でたくさんの方々にご協力いただき、完成させることが出来ました。

○今後の清水谷

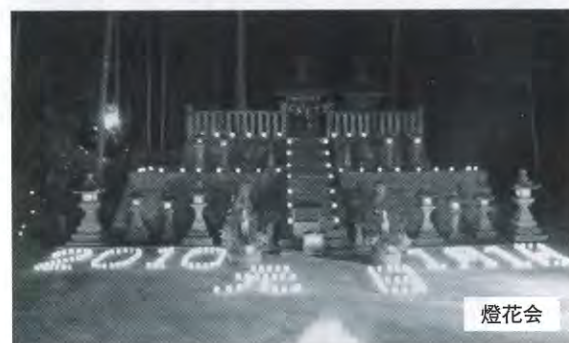
私の夢でもある“絆”を育んで行ける区づくりができればと考えています。どこも同じ悩みだと思いますが、高齢化で過疎が進む中、今こそ昔のように人と人との繋がりを深め“親子の絆”、“近所同士の絆”、“区民の絆”を取り戻し、田舎ならではの良さを活かし、清水谷を活性化していけたらと思います。今回の『ジャンボ子ども雛』の作成を通じて、住民の皆さんの温かい心を再認識し、これからも交流の場を設け、野菜や丁稚ようかん、手作り品などの販売、子供たちと一緒に楽しめるイベントなどを企画し、どんどんPRしていき、清水谷の発展、延いては高取町の発展に繋がっていく町づくりに力を注いでいきたいと思っています。



上辻から見た清水谷



高生神社



燈花会



取材日にジャンボ子ども雛を作成されていたボランティアのみなさん

第3回私の大字自慢

市尾編



区長さんの紹介

- ◎お名前 川西康陽さん
- ◎趣味 日曜大工・園芸
- ◎人生の大きな出来事
自身が障害者になったこと
- ◎夢 市尾をメジャーにする事



宮塚古墳周辺の民家の屋根に魔除けとして置かれている『鍾馗さん』

○市尾ってどんなところ？（人口など）

昔は旧船倉村の中心地であり、最寄り駅として近鉄市尾駅がある。13垣内、約240世帯で、駅前には農協もあり、郵便局や駐在所等もあるが、以前は何軒かあった商店は現在は数件残っているだけである。

○市尾には何がある？（歴史的建造物など）

大字内には、お寺が三ヶ寺、神社が三ヶ所ずつある。天満神社入口の楠は町の文化財に指定されている。又、墓山古墳、宮塚古墳等があり、歴史好きのハイカーが最近は多数訪れるようになった。墓山古墳は、高取町内で一番大きな古墳である。形は前方後円墳で横穴式石室内の石棺の石は二上山から運ばれたものである。また、平成17年11月に整備事業のため発掘調査が行われた際、武器、馬具、土器など多くの出土品が発見された。中でも「木の埴輪」と言われる鳥形木製品が出土したことで話題となった。そして墓山古墳の西方に位置し、天満神社のすぐ隣にあるのが宮塚古墳。この古墳からも大刀や弓金具、須恵器など多数出土している。昔は自由に石室内に入内りすることができたが、平成9年から改修作業を含めた発掘調査が行われ、整備されたことによって、石棺に近づくことができなくなった。しかし、現在は石室に近づくセンサーが反応し、石棺を照らす照明が点くようになっている。この事を知らずに近づくると少し驚くかも知れないが、同時に古代の雰囲気を感じられるのではないだろうか。



市尾（市尾墓山古墳から）



市尾墓山古墳

○市尾を自慢&PRしてください。（現在の催し物など）

自慢は二つ。一つは自主防災組織の充実、大字役員と自警団、それに60歳以上で普段、家におられる方で組織するシニア自警団それぞれが連携して、日夜、防災に努めている。

二つ目は、去年から始めた「市尾墓山燈火会」墓山古墳をメイン会場として、尚齒会の協力で約900個の灯ろうで墓山をライトアップ。多数の皆様にご好評であった。これは大字内の有志に依り、年5回の草刈りを実施し、墓山の美観につとめていただいている事が大きい。今年も7月29日に第2回「市尾墓山燈火会」を実施する予定をしている。



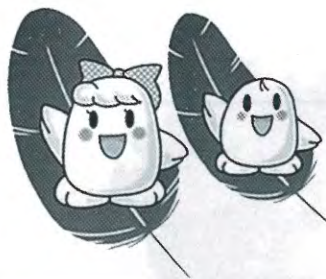
天満神社

○今後の市尾

尚齒会、子供会、ボランティア団体等の力を結集して、積極的に村の行事に参加したくなる雰囲気作りをして、子供達が将来、市尾に生まれて良かったと思えるようにしたい。



宮塚古墳 石室内



赤い羽根共同募金に ご協力ありがとうございました！

募金総額

一般募金 1,486,749 円
歳末たすけあい募金 802,602 円



「駅前での募金活動」



「たかむち小学校より」



赤い羽根データベース あなたの募金があなたの街の
何に役立てられているをご覧
いただけます。

はねっと

「はねっと」(www.nara-akaihane.com)では、募金
していただいたお金が、具体的に高取町でどのよう
に使われているかがご覧いただけます。

赤い羽根共同募金による



『住みよい地域づくり支援事業』助成金交付事業決定！

昨年11月に、「住みよい地域づくり支援事業」の助成申請を募集したところ、2団体の応募があり、12月の共同募金委員会運営委員会で審査されました結果、事業内容が高取町の住民自らが参加する地域福祉コミュニティの実現につながる活動であると認められ、助成金が交付されることになりました。助成対象2団体は以下のとおり。

①	団体名	天の川実行委員会
	事業名	町家の雛めぐり
②	団体名	特定非営利活動法人 アシスト
	事業名	情報技術・インターネットを活用した地域振興・地域交流事業

※来年度も同様、公募しますので、ご興味をお持ちの方は是非お問い合わせ下さい。

問い合わせ先：高取町共同募金委員会 事務局 ☎ 0744-52-3865



寄せ植え教室を開催しました！

世代間・住民間の交流を目的に、クリスマス・お正月用の「寄せ植え教室」を平成 23 年 12 月 23 日（金）に午前の部、午後の部の 2 部構成で開催しました。クリスマスの装飾にぴったりのゴールドクレスト、赤・白・ピンクの色鮮やかなシクラメン、冬の妖精と呼ばれている花かんざし、お正月には欠かせない、「祝福」の花言葉を持つ葉牡丹など他にもたくさんの花々が取り揃えられました。寒空の下ではありましたが、参加者の皆さんはワイワイ楽しみながら個性豊かな作品を創り上げました。「帰ったら早速玄関に飾ります！」とうれしそうにおっしゃっている方もいらっしゃいました。



天川村災害支援報告



台風 12 号による豪雨のため県南部の天川村において、床上浸水等の被害地域の災害ボ

ランティアによる支援活動を行うため、平成 23 年 9 月 8 日～9 月 13 日の間、天川村社協で災害ボランティアセンターが開設され、高取町社協からも参加しました。短期間の募集にも関わらず、6 日間で 534 名のボランティアの方々が集まりました。9 月とはいえ、真夏のような暑さの中、1 日も早く住民の皆さんが元の生活に戻れるようにと、一心に瓦礫の撤去や家屋の清掃活動が行われました。



この社協だよりは、共同募金の配分金で作られています。



気仙沼仮設住宅訪問

平成 23 年 10 月 2 日、上牧町社協と高取町社協とが合同で宮城県気仙沼市赤沢牧沢地区の仮設住宅を訪問しました。上牧町の住民の皆さんは被災地の復興を願い「笑顔の明日へ」をテーマにしたメッセージカードを作成し、上牧町のボランティアグループの皆さんに託され、手渡されました。高取町民生児童委員協議会（女性部）の皆さん、さつき会の皆さんが思いを込めて手作りして下さった、ティッシュカバーをお届けしました。他にも茶話会を開き、手遊びや体操など終始リラックスした雰囲気被災地の皆さんは和やかに過ごされた様子でした。



皆様からお寄せいただきました、**赤い羽根共同募金**



歳末たすけあい共同募金 を役立てております。



『命のボタン』(救急医療情報キット)の受付が始まりました。

「命のボタン」とは？

ひとり暮らしの高齢者の方などを対象に、もしもの急病時に備え、救急隊への情報伝達を目的とし、「かかりつけの病院」・「薬剤情報提供書（写）」・「持病」などの情報（緊急時安心カード等）を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておく道具です。

◇実際にご利用されている町内にお住まいのKさん（84歳）にインタビューをしました。

質 問：何で「命のボタン」をお知りになりましたか？

Kさん：広報を見ました。以前に娘からもテレビ（他の県で実施）でやってたよ、と聞いてたから知ってました。容器は民生委員さんが持って来てくれました。

質 問：「命のボタン」はどういう風に活用されていますか？

Kさん：薬の明細や保険証のコピーを一緒に入れてあります。
記入やステッカーを玄関や冷蔵庫に貼ったりするのはケアマネさんにお願ひしました。

質 問：実際に「命のボタン」をご利用されたご感想は？

Kさん：安心できました。以前よりも心丈夫で居られます。
最初はなんで冷蔵庫に入れるのかなあと思いましたけど、万一の地震の時も丈夫だと聞いて納得しました。皆さんがいろんな事を考えてしてくれるおかげで本当に安心して暮らせてます。



心丈夫で
過ごして
います。



冷蔵庫の扉にス
テッカーを貼
ります。

玄関の扉の内側
に貼ります。

※救急医療情報キット「命のボタン」のお問い合わせは、お住まいの地区担当民生児童委員さん又は高取町役場保健福祉グループまで。なお、費用は無料です。



おせち料理配食サービス



12月31日に一人暮らし高齢者・
高齢者夫婦（75歳以上）でお暮しの方を対象
として、あたたかいお正月を迎えて下さるよう、
各地区担当民生委員さん
を通じ、お節料理をお届
けしました。

平成23年度の
『お節料理』



民生委員さん
にお届けしました





みんなちがって みんないい



講演会「知ってほしいな 発達障がいのこと」開催報告

NPO法人 奈良県自閉症協会の“奈良 HA-HA-HA キャラバン隊”による講演会が町内2カ所で開催されました。“奈良 HA-HA-HA キャラバン隊”とは、自閉症のお子さんを育てる母親の皆さんで、外見からではわかりにくく誤解されやすい「自閉症」・「アスペルガー症候群」など「発達障がい」とよばれる人達のことを知っていただくために活動されている方々です。



「プロジェクターで映された映像をペットボトルを通して覗き見るようす」

講演内容は疑似体験が主で、自閉症の人にはどう見えているのかを、2Lのペットボトルを半分に切った上半分を使い、広い切り口から狭い注ぎ口を通し映像を覗き見し、何の映像かを言い当てるといった視界体験をしました。

映像の一部分しか見えず、全体像が捉えづらかった。



つづいては、動作の体験です。片手に軍手を2枚重ねてはめて、5秒以内にコインを掴んで貯金箱の中へ入れるという作業。小さな物は掴み難く、かつ小さな穴へは入れ辛く、さらに5、4、3、・・・とカウントされると焦ってなかなか思うように出来ない。自閉症の症状も様々ですが、見た目には気づきにくいいため、周りの人には誤解されることもあります。



簡単そうに見えるのですが、掴めるように掴めない・・・。

「軍手をはめてコインを掴み貯金箱に入れるようす」



他にも「聞こえ方体験」、VTRと共に語られる「母の気持ち」や「歌」など様々な内容で、講演会に参加された方は、「自閉症だけでなく、普段の子育てや、人とのつきあい方にも活かせる事がたくさんあるなぁと感じました。」や、「参加して良かった。いろんな事を体験することで、少しでも自閉症の子どもの感じ方がわかりました。」とおっしゃる方もいらっしゃいました。参加された皆さんは講演のタイトル通り、“みんなちがって みんないい”を実感できた講演会だったのではないのでしょうか。

“あんしん” 生活のお手伝い！！

地域福祉権利擁護事業《日常生活支援事業》

- ◇1日にいくらお金を使ったらいいのかわからない・・・。
- ◇福祉サービスの利用をしたいが制度の事がよくわからない。
- ◇通帳や印鑑をどこに置いたか忘れてしまう。
- ◇年金証書などの大切な書類を預かって欲しい・・・。



・・・そんなご心配を解決します！！

※利用される方は、判断能力が不十分な状態の方（物忘れが気になる高齢者、認知症の方、知的障害のある方、精神障害のある方など）が対象となります。

また、契約を結ぶことや利用料がかかることをご理解いただき、この事業の利用が日常生活の役に立つと認められる方が対象となります。

詳しくは、高取町社会福祉協議会までお問い合わせください。（ご相談無料）

電話：0744-52-3865 FAX：0744-52-3819



給食サービス

4月24日（火）

毎月、民生児童委員の方々を通じてひとり暮らしのお年寄りを対象に給食サービスを行っています。

心配ごと相談日

4月25日（水）

一般相談

◇時間 午後1時～4時

◇場所 高取町老人福祉センター



高取町社会福祉協議会にご寄付

善意の寄附金をいただきありがとうございました。
このあたたかい善意は町民の福祉に役立たせて頂きます。（敬称略）



◇寄付者 桶谷 憲昭（丹生谷）
金 100,000 円



毎年12月3日～9日は 「障がい者週間」

12月5日（月）に近鉄主要駅の一部で、啓発物品を配布し、街行く人に障害者福祉への理解を呼びかけました。また、12月8日（木）には、イオンモール橿原アルルで「～ひきこもり～ここは雨のち晴れ」をテーマに、精神科医の岡 留美子氏に講演を行なっていただきました。具体的な事例を挙げお話し下さったり、地域ではどのような支援が利用でき、専門機関や窓口が存在しているか、などの説明もあり、当事者や家族の方にとっても意義深い講演会となりました。



「街頭活動の様子」



「講演の様子」

【高取町・橿原市・明日香村地域自立支援協議会】